

12月中旬  
ちよっと先の話になりますが



西蒲七か町村の  
市外局番統一

巻、越後吉田、分水電報電話局では、西蒲原7か町村（岩室村・巻町・西川町・吉田町・分水町・弥彦村・湯東村）の市外局番の統一と市内局番の二桁化について検討していましたが、今年12月中旬を予定に切替が行われることになりました。以前から7町村の通話を相互に市内通話できるようにしてほしいとの要望が出されていましたが、電報電話局がこれに応えたもので、市外局番を「0256」に統一し、市内局番も二桁に変更することになりました。これにより村内の局番は82局と85局（間瀬）の二局となり、現在より一桁多くなりますが、巻町や吉田町へは市外局番が不要となりますので便利です。

なお、岩室村役場の代表電話番号は、02568・2局4111番ですが、切替後は、0256・82局4111番となります。

各町村の電話番号計画は次のとおりです。

【町村電話番号計画】

町村名	電話局名	現在			変更後		
		市外局番	市内局番	加入者番号	市外局番	市内局番	加入者番号
岩室村	岩室(間瀬)	02568	2	XXXX	0256	82	XXXX
		"	5	XXXX	"	85	XXXX
巻町	巻(漆山)	02567	2	XXXX	"	72	XXXX
		"	3	XXXX	"	73	XXXX
		"	6	XXXX	"	76	XXXX
		"	7	XXXX	"	77	XXXX
西川町	曾根	025688	—	XXXX	"	88	XXXX
		02569	2	XXXX	"	92	XXXX
吉田町	越後吉田	02569	3	XXXX	"	93	XXXX
		02569	7	XXXX	"	97	XXXX
分水町	分水	02569	8	XXXX	"	98	XXXX
		025694	—	XXXX	"	94	XXXX
弥彦村	弥彦	025694	—	XXXX	"	94	XXXX
湯東村	湯東	025686	—	XXXX	"	86	XXXX

【注】XXXXは、現在使用の番号で変わりません

約百億個——昨年日本でつくられたカン飲料の数です。この空き缶のすべてが回収されるわけはありませんから、あちこちに散乱する空き缶の数は年々増え、膨大な量にのぼっていることは容易に想像できます。「空き缶公害」といわれるゆえんです。そしてこのことは、わたしたちの街、岩室村にとっても決して他人ごとではないのです。

「私一人くらい…」がポイ捨て十億本に  
ジュース、コーラ、コーヒ、ビールなど、年間百億本もつくられる缶入り飲料は、最近の自動販売機の普及とともにいつでもどこでも手に入りやすい。

この置き去りにされた缶は、草むらや砂浜で百年以上も生き続けるそうです。捨てることをやめない限り、また、回収しない限り、どこを見ても空き缶がゴロゴロ、せつかくの憩の場が空き缶に占領される、なんてことにもなりかねませんね。

ドライブなどのレジャーに行くときは、ビニール袋や紙袋を用意し、飲んだ後は、まとめてごみ箱に捨てる——などの最低エチケットは守ってほしいものです。

- 小林嘉夫(高畑) 金子文知(原)
- ▽機械器具管理優良表彰Ⅱ第三分団第二部(石瀬)
- ▽火災協力者表彰Ⅱ本多アキ(和4) 藤田三男治(湯上)
- \*長年ご苦労さまでした
- 退団者感謝状
- 佐藤長作(和1) 大岩孝(原) 鏑田敏夫(和2) 本田正人(和2) 竹内二作(和2) 佐藤直衛(和7) 幸田一雄(和7)
- 伊藤初男(和7) 小池上正義(和4) 瀬戸利英(和4) 阿部新太郎(和6) 樋浦三次(高橋) 鶴巻一男(高橋) 大岩一義(原) 遠藤栄一(夏井) 鷲沢孝(高畑) 鈴木一夫(夏井) 山田強(西中) 大平幸雄(西中) 野水清麻(高畑) 本間一雄(樋曾) 竹内茂(金池) 五十嵐優(石瀬) 佐藤操(石瀬) 渡辺清(石瀬) 羽生正文(岩室) 後藤文直(岩室) 阿部秀男(樋曾) 阿部洋(樋曾) 小林勝彦(間5)

何とかしたい——散乱する空き缶



クリーン作戦<1>

「海はばくちの校庭の一部。間瀬海岸をきれいにしよう。くちや。」——と昨年、間瀬小学校の子もたちが手に手にビニール袋を持ち、海岸清掃にアタックしました。「日本列島クリーン大作戦、運動の一環として、毎年海岸清掃に力を入れている間瀬小ですが、海水浴シーズン中はビールや清涼飲料水の空き缶で、埃がいっぱいになるそうです。

クリーン作戦<2>

「自分たちの通学路は自分たちの手で、きれいにしよう。」——と岩室中学校生徒会「あすなろ会」でも毎年、夏休みに通学路の道ばたに捨てられた「空き缶拾い」を行っています。「信号機や止まれる標識のある道ばたが一番多い」と生徒のひとりも言う。

このほか、各部落や地域子ども会などでも同じようなクリーン作戦を行っています。草むらや、見えない所にかくれている缶のことも考えると、その数は大変になりそうです。いつまでも、ボランティアだけに頼ってはいられません。一般に散乱する空き缶をなくすのは、

空き缶回収——いつまでもボランティアだけでは



みなさんの生命と財産を守るため

消防定期総合演習

先月十七日、消防定期総合演習で村内消防団の村長点検が行われ、団員二百三十人、車両十九台が和納小学校グラウンドに勢ぞろいしました。

点検の後、部隊・操法・特別救助隊の訓練が行われ、汗くっしりとなった制服を気にもとめず、披らうしました。また、火災協力者など次のみなさんの表彰も行われました。(敬称略)

- ▽功績章(自治体消防制度発足三十五周年記念表彰)Ⅱ団長・佐野曾一郎(高橋) 神保康夫(津雲田) 大平広紀(西中)
- ▽精勳章(十年以上)Ⅱ部長・佐藤直衛(和7) 山田乾二(和6) 班長・本田正人(和2) 竹内二作(和2) 小林登美夫(和7) 池上二喜(和6) 中村盛夫(高畑) 荒井龍男(高畑) 団員・田村健一(和3) 佐野曾一郎(高橋) 神保康夫(津雲田) 大平広紀(西中)
- 陸雄(間5) 副分団長・佐藤衛(間3)
- ▽功績章(県消防協会表彰)Ⅱ部長・宝輪誠吉(間6)